

# サソリ飼育始めました

もりかわ  
森川オサム

(モータージャーナリスト・昭47工)



欧州の自動車に付けられているエンブレムには、そのメーカーの歴史を物語るものが多く、動物が使われているものも多い。有名なのはフェラーリの跳ね馬。跳ね馬はポルシェにも使われていて、こちらはメーカーがあるシユツツトガルト市の紋章に由来するもの。フェラーリのライバルとされるランボルギーニは猛牛のエンブレムだ。ミラノのヴィスコンティ家の紋章を引用したアルファロメオのものには、人間を呑みこむ大蛇が描かれているので、こんど停まっていたらご一見を。

五〇〜六〇年代に、イタリアの小さなフィアット車を改造して、モータースポーツで大排気量車に立ち向かったのがアバルト。小さいのに猛毒で大きな動物を倒すサソリをシンボルにした。わかりやすい。フィアットとタッグを組んで世界選手権ラリーでも大活躍し、後にフィアット傘下にスポーツブランドとして組み込まれ、今日に至る。

実は最近、娘用のクルマをプジョーからアバルトに変えた。可愛らしいフィアット500(チンクェチェント)の内を外をスポーティに仕立てたアバルト500だ。プジョーのエンブレムは立ち上がって吠えるライオン。我が家ではまさに小さなサソリが百獣の王を倒したことになる。アバルトが届いてから気づいた……娘はさそり座の生まれだった。